

第66回



CKD VIETNAM ENGINEERING Co.,Ltd.



●事業内容

空気圧制御機器、駆動機器、空気圧関連機器、ファインシステム機器、流体制御機器、コントロール機器など機能機器の販売

●CKD VIETNAM ENGINEERING Co.,Ltd.

18th Fl., CMC Tower, Duy Tan St., Cau Giay Dist., Hanoi

●日本本社

愛知県小牧市応時2-250

●ホームページ

<http://www.ckd.co.jp/>

CKD VIETNAM ENGINEERING(以下、CKD VIETNAM)は、愛知県小牧市に本社を置く、CKD株式会社(以下、CKD)の現地法人として、2014年6月にハノイ市に設立されました。

日本のCKDは、自動化技術のパイオニアとして常に時代のニーズを先取りし、省力・自動機械、管球製造装置、薬品包装機、半導体用薬液制御機器などの商品を研究開発してきました。また、「高速横型直管蛍光灯製造ライン」や「冷陰極蛍光灯製造ライン」の製造プラントの分野では、世界トップシェアを占めており、卓越した技術力を保有しています。

なお、海外子会社であるCKD VIETNAMでは、機械や生産ラインに使われる各種パーツ・空気圧機器、流体制御機器、半導体関連機器、省力機器などの販売を行っています。

今回は、そんなCKD VIETNAMの宮下栄一社長にお話を伺ってきました。

ベトナム進出の経緯を教えてください。

もともとベトナム国内のお客様には、代理店網を活用しシンガポール経由で製品の販売を行っていましたが、会社の方針として、より積極的に海外へ進出することとなりましたので、これからの発展が望まれる新興国に早めに進出し、製品やサービスを提供することで市場シェアを伸ばすという考えの下、ベトナムに現地法人を設立する運びとなり、2014年6月に現地法人を設立、2014年7月より業務開始しております。

一業務内容を教えてください。

CKDの取扱製品は多岐に渡っておりますが、大きく分けると次の2つになります。

一つ目は【機器製品の開発・製造・販売・輸出】で、様々な機械や生産ラインに使用されている各種パーツ・空気圧機器、流体制御機器、半導体関連機器、省力機器などです。

もう一つが【自動機械装置の開発・製造・販売・輸出】で、蛍光灯や電子管などの照明製造システム、薬品や食品などの自動包装システム、コンデンサやリチウムイオン電池などの製造システム、画像処理技術を使った三次元はんだ印刷検査機などです。

ベトナムでは、このうち主に前者の【機器製品の販売】を取り扱っています。

特に、シリンダー・バルブ等の空気圧関連機器、水や空気の切り替えなどに使用する制御バルブ、電動アクチュエーター、アブソデックス・インデックス等省力機器がメインの商品となっています。

主な取引先は、日系企業が中心となりますが、その中でも特に自動化、小物の

組立の工程がある企業からの引き合いが多いです。また、工場で使用されているだけでなく、歯医者などで患者さんが座る「歯科用チェアユニット」でも我々の空気圧機器が使用されています。

ベトナムで苦労されたことは何かありますか？

ゼロから海外現地法人を立ち上げるのは初めてでしたし、言葉や習慣、文化が異なりますので、毎日のように大変な事はありますが、「チャレンジ」だと思っていることもあり、実はあまり苦労だとは思っていません。

ただ、ベトナム語のカタログを製作する際、「高剛性」や「高精度」といった製品



の特徴を説明する言葉をベトナム語に翻訳し、正確な意味をベトナム人に伝えることが難しく苦戦しています。日本語と英語では、技術的な専門用語があっても、それをベトナム語に訳すと意味不明な言葉になってしまい、お客様に製品の特徴を上手く伝えられないと言うような言葉の壁には苦勞を感じています。後は、日本から製品カタログを輸入する際に、毎回、出版物のライセンスを取得しなければならない為、労力が掛かっています。

ーベトナム人社員の評価はいかがでしょうか。

現在、ハノイ事務所には、ベトナム人スタッフ6名が在籍しています。全員が立ち上げ当初に入社したスタッフで現在まで誰も辞めずに頑張ってくれており、非常に助かっています。

以前、他国に駐在していた経験がありますが、日本に比べ給料の差による能力の差が大きいと感じていました。ベトナムでは、各自の能力が高いうえ全員が一生懸命に働きますので、他国に比べて優秀だと感じています。

特にミスが少ない点が弊社にはあってきます。弊社の製品は品数とオプションが多い為、形番が非常に複雑で、発注書などで一文字でも記載ミスをしてしまうと別の製品が届いてしまうことになり、お客様にご迷惑をお掛けする事態になってしまいます。そのため細心の注意が必要ですが、ベトナム人スタッフは入社当初からそのようなミスをしたことが殆どありません。また、業務を行っていく上で助かっている点は、私が指示をしないでも、スタッフ同士で仕事の振り分けをして、お互い協力して仕事をしていく姿勢です。他の国では、担当業務を上司がしっかり振り分けて具体的な指示を出さないと、忙しい人は忙しく、暇な人は暇で手が空いていても手伝わずに遊んでいたりするのが普通です。これができるのは、日本とベトナムだけだと思います。

ー現在、採用はされているのでしょうか。

技術系の専門スタッフを探しています。また、今のところハノイの需要が高い状

況ですが、ホーチミンの需要も増えてきているため、ホーチミンスタッフの募集を始めています。

採用の際に気をつけていることは、社内の公用語が英語のために、まずは英語力を見ます。

その他は、人間性、性格を見るように心がけています。

ー社員教育はいかがでしょうか。

社員をシンガポールに研修に行かせて、商品知識や、空気圧などに関する技術教育を行ったりしています。技術的な知識が向上すると仕事をスムーズに進められる上、新しいことを学ぶことで社員のモチベーションアップにもつながっていると思います。CKD VIETNAMは、まだ小さな会社ですが、CKD自体は、世界各国に拠点を持ち、グループ全体で約3,290名の社員が働く大きな会社ですので、その中の大事な社員の一人なんだという自覚と誇りを持ってもらいたいと考えています。

ー設立当初からまだ誰も辞めてないようですが、何か工夫はされていますか。

CKD VIETNAM立ち上げの際、基幹業務に関しては日本主導で導入しサポートを受けましたが、通関に関する業務プロセス、ベトナムに合った経理業務や社内規則制定、在庫管理や製品出荷などのロジスティックに関する部分など、多くの部分を初期に入社したベトナム

人スタッフと共に今まで手作りで作りあげてきました。そのようなプロセスを共有できているので、社員一人一人が「自分たちで作った会社」という思いがあることが一因かもしれません。それと、社員同士の仲が良いことが最大のポイントではないかなと思います。

ー今後の展開について

まずはホーチミンに営業拠点を開設し、お客様のサポート体制をさらに充実させたいと考えています。次に空気圧のプロ集団となるべく、スタッフの教育、特に技術的な知識向上に努め、弊社がお客様に対して長年行っている「空圧技術講習会」を、より高度な内容までベトナム人スタッフが講師として説明や指導ができる体制にして行きます。

我々の製品は自動化が進むと需要が大きくなるのですが、ベトナムは、まだ人件費が安い為、製造業の現場では手作業の方がコストメリットがあるケースも多くあります。

しかし、ベトナムでも近い将来、人件費が上がり、手作業と自動化のコストバランスが変わってくると考えられます。

その時には、我々の持っている製品や技術力がより一層ベトナムの皆様にお役に立てるのではないかと期待しています。

ーありがとうございました。

